

項目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	提出条件 ・ 備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	3004 アデノウイルス 5F150-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5～7	79 ① 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照 (* CF) ※02	急性上・下気道感 染症 (1～7型) 咽頭結膜熱 (3、 7型) 流行性角結膜炎 (3、7、8、19、 37型)
	3069 アデノウイルス1型 5F151-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (* NT)	
	3070 アデノウイルス2型 5F152-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3071 アデノウイルス3型 5F153-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3072 アデノウイルス4型 5F154-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3073 アデノウイルス5型 5F155-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3074 アデノウイルス6型 5F156-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3075 アデノウイルス7型 5F157-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3076 アデノウイルス8型 5F158-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	1132 アデノウイルス11型 5F161-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
	3077 アデノウイルス19型 5F169-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
1133 アデノウイルス37型 5F177-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8～14	NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	※02			

①ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。

*CF（補体結合反応）： 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）

*NT（中和反応）： 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）



項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウイルス 感染 症 検 査	3037 インフルエンザ A型 ウイルス (H1N1) (H3N2) 5F400-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79 ①② 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02	A型及びB型インフルエンザ ウイルス感染後 インフルエンザワクチン 接種後
	3001 インフルエンザ A型 ウイルス 5F400-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	下記参照 (*CF法) ※02	
	3231 インフルエンザ B型 ウイルス B-1(山形系統) B-2(ピクトリア系統) 5F410-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79 ①② 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02	
	3002 インフルエンザ B型 ウイルス 5F410-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	下記参照 (*CF法) ※02	
	3033 パラインフルエンザ 1型 ウイルス 5F421-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02	パラインフルエンザ ウイルス感染後 呼吸器感染症 (1~3型)
	3034 パラインフルエンザ 2型 ウイルス 5F422-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍		
	3035 パラインフルエンザ 3型 ウイルス 5F423-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍		
	3020 RSウイルス 5F430-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7	79① 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	下記参照 (*CF法) ※02	上気道炎 気管支炎 肺炎
	3040 RSウイルス 5F430-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍	下記参照 (*NT法) ※02	

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (114ページ) を参照ください。

②インフルエンザウイルス抗原定性とウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) のインフルエンザウイルスA型若しくはインフルエンザウイルスB型を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

*CF法 (補 体 結 合 反 応) : 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

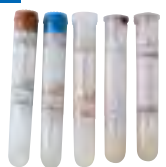
出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT法 (中 和 反 応) : 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI法 (赤血球凝集抑制反応) : 出発希釈 10倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)

1 プレイン容器



項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウイルス 感染症 検査	3057 エコーウイルス 1型 5F311-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12	79 ① 免疫	NT法 (中和反応)	4未満 倍	下記参照(*NT法)	無菌性髄膜炎 中枢神経疾患 上気道炎 発疹 麻痺 心嚢炎 心筋炎 ヘルパンギーナ 筋痛症 気道疾患 肝炎
	3058 エコーウイルス 3型 5F313-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3059 エコーウイルス 4型 5F314-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	5325 エコーウイルス 5型 5F315-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3060 エコーウイルス 6型 5F316-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3061 エコーウイルス 7型 5F317-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3062 エコーウイルス 9型 5F319-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	5326 エコーウイルス 11型 5F321-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	5327 エコーウイルス 12型 5F322-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3063 エコーウイルス 13型 5F323-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	4711 エコーウイルス 14型 5F324-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	5329 エコーウイルス 16型 5F326-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	6~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3064 エコーウイルス 17型 5F327-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	5330 エコーウイルス 18型 5F328-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	6~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	4712 エコーウイルス 19型 5F329-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	4713 エコーウイルス 21型 5F331-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	4644 エコーウイルス 22型 (パレコウイルス I 型) 5F332-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	4714 エコーウイルス 24型 5F334-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3065 エコーウイルス 25型 5F335-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		
	3066 エコーウイルス 30型 5F340-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~12		NT法 (中和反応)	4未満 倍		

① ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。
*NT法（中和反応）：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。
出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）



項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
1128	コクサッキー A群2型 ウイルス 5F282-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14	79 ① 免疫	NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊NT法）	ヘルパンギーナ（A群） 急性リンパ結節性 咽頭炎（A群10型） 無菌性髄膜炎 手足口病（A群10、 16型）
1129	コクサッキー A群3型 ウイルス 5F283-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
5318	コクサッキー A群4型 ウイルス 5F284-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
5523	コクサッキー A群5型 ウイルス 5F285-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
4642	コクサッキー A群6型 ウイルス 5F286-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
3048	コクサッキー A群7型 ウイルス 5F287-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
3049	コクサッキー A群9型 ウイルス 5F289-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
3013	コクサッキー A群9型 ウイルス 5F289-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊CF法） ※02	夏かぜ症候群 無菌性髄膜炎 麻痺 気道性疾患 心筋炎 熱性疾患
1130	コクサッキー A群10型 ウイルス 5F290-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊NT法） ※02	
3050	コクサッキー A群16型 ウイルス 5F296-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍		
3051	コクサッキー B群1型 ウイルス 5F301-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	※02	
3014	コクサッキー B群1型 ウイルス 5F301-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊CF法） ※02	
3052	コクサッキー B群2型 ウイルス 5F302-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊NT法） ※02	
3015	コクサッキー B群2型 ウイルス 5F302-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊CF法） ※02	
3053	コクサッキー B群3型 ウイルス 5F303-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊NT法） ※02	
3016	コクサッキー B群3型 ウイルス 5F303-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照（＊CF法） ※02	

①ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。

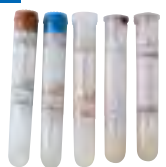
*CF法（補体結合反応）：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）

*NT法（中和反応）：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）

1 プレイン容器



項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウイルス 感染症 検査	3054 コクサッキー B群4型 ウイルス 5F304-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14	79 1 免疫	NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*NT法) ※02	
	3017 コクサッキー B群4型 ウイルス 5F304-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*CF法) ※02	
	3055 コクサッキー B群5型 ウイルス 5F305-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*NT法) ※02	
	3018 コクサッキー B群5型 ウイルス 5F305-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*CF法) ※02	
	3056 コクサッキー B群6型 ウイルス 5F306-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*NT法) ※02	
	3019 コクサッキー B群6型 ウイルス 5F306-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*CF法) ※02	
	1428 エンテロ ウイルス 5F270-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	7~13		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*NT法) ※02	急性出血性結膜炎
	3068 エンテロ ウイルス 5F271-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	7~13		NT法 (中和反応)	4未満 ^倍	下記参照 (*NT法) ※02	手足口病

①ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。

* CF法（補体結合反応）：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）

* NT法（中 和 反 応）：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍（髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL（冷蔵） 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍）



項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウイルス 感 染 症 検 査	3024 日本脳炎ウイルス (JaGAr株) 5F385-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	5~11	79 ① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	10未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 出発希釈 血清10倍、 髄液1倍 ※01	日本脳炎
	3010 日本脳炎ウイルス 5F385-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	5~7		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 出発希釈 血清4倍、 髄液1倍 下記参照(※CF法) ※02	
	1225 ムンプスウイルス IgM 5F432-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3~4	206 ② 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	耳下腺炎 無菌性髄膜炎 肺炎 精巣炎 卵巣炎
	1224 ムンプスウイルス IgG 5F432-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3~4		EIA法	2.0未満 (-) 判定基準：下記参照		
	3031 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	79 ① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	8未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 8未満 (倍) 出発希釈 血清8倍、 髄液8倍 ※02	耳下腺炎 無菌性髄膜炎 肺炎 精巣炎 卵巣炎
	3042 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 下記参照(※NT法) ※02	
	3003 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 下記参照(※CF法) ※01	
	1222 麻疹ウイルス IgM 5F431-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3~4	206 ② 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	麻疹 (はしか)
	1221 麻疹ウイルス IgG 5F431-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3~4		EIA法	2.0未満 (-) 判定基準：下記参照		
	3041 麻疹ウイルス 5F431-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	8~14	79 ① 免疫	NT法 (中和反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.2mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 下記参照(※NT法) ※01	

①ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価（114ページ）を参照ください。

*CF法（補体結合反応）：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍

*NT法（中和反応）：細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

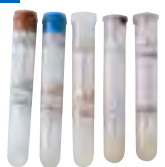
出発希釈 血清4倍

[1225、1224] ムンプスウイルス（血清）の判定基準
[1222、1221] 麻疹ウイルス

判 定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
—	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

判定結果とともにインデックス値（IgG抗体ではEIA価、IgM抗体では抗体指数）を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。

1 プレイン容器



	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	3099	風疹ウイルス IgM 5F395-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4	206 ② 免疫	EIA法	0.80未満 (－) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	風 疹 (3日はしか)
	3098	風疹ウイルス IgG 5F395-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4		EIA法	2.0未満 (－) 判定基準：下記参照		
	0329	風疹ウイルス 5F395-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4～5	79 ① 免疫	HI法 (赤血球凝集 抑制反応)	8未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) 【髄液基準値】1未満 (倍) 出発希釈 血清8倍、 髄液1倍 ※01	
	1336	ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) IgM 5F011-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4	206 ②③ 免疫	EIA法	0.80未満 陰性 判定基準：下記参照		伝染性紅斑 (リンゴ病) ※01
	1467	ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) IgG 5F011-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4		EIA法			
	3094	水痘・帯状ヘルペス ウイルス (VZV) IgM 5F193-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4	206 ② 免疫	EIA法	0.80未満 (－) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	水痘 帯状疱疹
	3093	水痘・帯状ヘルペス ウイルス (VZV) IgG 5F193-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4		EIA法	2.0未満 (－) 判定基準：下記参照		
	3006	水痘・帯状ヘルペス ウイルス (VZV) 5F193-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4～6	79 ① 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) 【髄液基準値】1未満 (倍) 出発希釈 血清4倍、 髄液1倍 下記参照 (※ CF法) ※01	

- ①ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページ）を参照ください。
- ②グロブリンクラス別ウイルス抗体価（114ページ）を参照ください。
- ③ヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。
- * CF法（補体結合反応）：補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 血清4倍

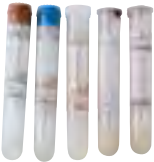
【3099, 3098】 風疹ウイルス (血清)の判定基準 【3094, 3093】 水痘・帯状ヘルペスウイルス		
判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
－	0.80未満	2.0未満
±	0.80～1.20	2.0～3.9
+	1.21以上	4.0以上

判定結果とともにインデックス値（IgG抗体ではEIA価、IgM抗体では抗体指数）を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。

【1336, 1467】 ヒトパルボウイルスB19 (判定基準)	
判定	抗体指数
陰性 (-)	0.80未満
判定保留 (±)	0.80～0.99
陽性 (+)	1.00以上

判定結果とともにインデックス値（抗体指数）を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。

1 プレイン容器



	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	3097	単純ヘルペス ウイルス (HSV) IgM 5F190-1432-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4	206 ② 免疫	EIA法	0.80未満(－) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量0.7mL (冷蔵) ※01	主病変部位 1型：上半身 2型：下半身(性器) ヘルペスウイルス性角結膜炎 歯肉口内炎 ヘルペスウイルス性湿疹 ヘルペス脳炎
	3096	単純ヘルペス ウイルス (HSV) IgG 5F190-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3～4		EIA法	2.0未満(－) 判定基準：下記参照	※01	
	1296	単純ヘルペス ウイルス(HSV)(髄液) IgG 5F190-1431-041-023	髄液0.7	2	冷蔵	3～4		EIA法	0.20未満(－) 判定基準：下記参照	※01	
	3043	単純ヘルペス ウイルス (HSV) 1型 5F191-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	7～13	79 ① 免疫	NT法 (中和反応)	4未満 倍	下記参照(※NT法) 1型、2型間には 抗原交差性があ ります。	
	3044	単純ヘルペス ウイルス (HSV) 2型 5F192-1430-023-151	血清0.2	1	冷蔵	7～13		NT法 (中和反応)	4未満 倍	※02	
	3005	単純ヘルペス ウイルス (HSV) 5F190-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4～6		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) [髄液基準値]1未満(倍) 下記参照(※CF法) ※01	
	3501	CMV核酸定量 5F194-1441-022-862	血漿1.8 単独検体	122	(分離後) 凍結 (84日)	3～5	450 ③ 微生物	リアルタイム PCR法	IU/mL 検出せず	他項目との重複 依頼は避けてく ださい。 ※02	サイトメガロ ウイルス 感染症
	3360	サイトメガロ ウイルス (CMV) IgM 5F194-1432-023-051	血清0.5	1	冷蔵	3～4	206 ② 免疫	CLIA法	0.85未満(－) 判定基準：下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.5mL (冷蔵) [髄液基準値]1未満(倍) 下記参照(※CF法) ※01	
	3359	サイトメガロ ウイルス (CMV) IgG 5F194-1431-023-051	血清0.5	1	冷蔵	3～4		CLIA法	6.0未満 (－) 判定基準：下記参照		
	3021	サイトメガロウイルス (CMV) 5F194-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4～6	79 ① 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) [髄液基準値]1未満(倍) 下記参照(※CF法) ※01	

① ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (114ページ参照)

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (114ページ参照)

③ サイトメガロウイルス核酸定量は、サイトメガロウイルス感染症の診断又は治療効果判定を目的として、臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者、HIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対し、血液を検体としてリアルタイムPCR法によりサイトメガロウイルスDNAを測定した場合に算定する。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、本検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

*CF法 (補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.5mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT法 (中 和 反 応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますので、ご注意ください。

出発希釈 血清4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[3097] 単純ヘルペスウイルスIgM
[3096] 単純ヘルペスウイルスIgG の判定基準

判 定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
ー	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

[1296] 単純ヘルペスウイルスIgG (髄液) の判定基準

判 定	EIA価
ー	0.20未満
±	0.20~0.39
+	0.40以上

判定結果とともにインデックス値、(IgG抗体ではEIA価、IgM抗体では抗体指数) を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。

[3360、3359] サイトメガロウイルス抗体/CLIA判定基準

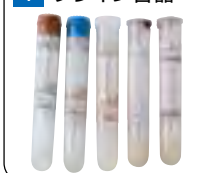
IgG抗体 (血清)

判定	抗体濃度 (AU/mL)
ー	6.0未満
+	6.0以上

IgM抗体 (血清)

判定	Index
ー	0.85未満
±	0.85~0.99
+	1.00以上

1 プレイン容器



2 滅菌スピッツ



122 CMV核酸定量用



	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウ イ ル ス 感 染 症 検 査	4792	EBウイルス 抗EA IgG 5F203-1431-023-023	血清0.2	1	冷蔵	3～5	206 ① 免疫	EIA法	0.5未満 陰性 判定基準：下記参照	※02	EBウイルス感染症 伝染性単核症 バーキットリンパ腫 上咽頭癌
	4793	EBウイルス 抗VCA IgM 5F202-1432-023-023	血清0.2	1	冷蔵	3～5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準：下記参照		
	4794	EBウイルス 抗VCA IgG 5F202-1431-023-023	血清0.2	1	冷蔵	3～5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準：下記参照		
	4795	EBウイルス 抗EBNA IgG 5F204-1431-023-023	血清0.2	1	冷蔵	3～5		EIA法	0.5未満 陰性 判定基準：下記参照		
	3081	EBウイルス 抗EA-DR IgG 5F203-1431-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍		
	3079	EBウイルス 抗VCA IgM 5F202-1432-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍		
	3078	EBウイルス 抗VCA IgG 5F202-1431-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6	FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍	出発希釈 10倍		
	3083	EBウイルス 抗EBNA 5F204-1430-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6	79 ② 免疫	FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍		
	3080	EBウイルス 抗VCA IgA 5F202-1433-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍		
	3082	EBウイルス 抗EA-DR IgA 5F203-1433-023-162	血清0.2	1	冷蔵	4～6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満倍	※02	

- ①グロブリンクラス別ウイルス抗体価（114ページを参照ください。）
 ②ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（114ページを参照ください。）

【4792～4795】EBウイルス（EIA法）の判定基準

判定	抗体指数
(-)	0.5未満
(±)	0.5～0.9
(+)	1.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料	検査方法	備 考
分離・同定	5341 ウイルス分離 6B655-0000-099-748	下記参照	33	冷蔵	5~22		細胞変性効果、血球吸着現象、赤血球凝集反応	凍結保存は避けてください。 分離、同定検査は以下の細胞を使用しています。PH1b (ヒト繊維芽細胞)、HEp-2 (ヒト喉頭癌細胞)、Vero (ミドリザル腎細胞)、MA104 (アカモザル腎細胞)、RD-18S (ヒト横紋筋腫細胞)、MDCK (イヌ腎細胞)、B95a (マーマセツトB細胞)、AGMK (アフリカミドリザル腎細胞)、A549 (ヒト肺癌細胞)、Caco-2 (ヒト結腸腺癌細胞) ※02
	5342 ウイルス同定 6B705-0000-099-748	*1参照	33	冷蔵	14~30		標準抗血清による中和反応・免疫蛍光抗体法・赤血球凝集抑制反応	

<検査材料>

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。

ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、パラインフルエンザ アデノ、コクサッキー、エコー	咽頭ぬぐい液、鼻分泌液 咽頭ぬぐい液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、パラインフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭ぬぐい液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹 エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液 咽頭ぬぐい液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・带状疱疹 コクサッキー、エンテロ71	水疱内容 水疱内容、咽頭ぬぐい液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー 水痘・带状疱疹、ムンプス	咽頭ぬぐい液、髄液、糞便 咽頭ぬぐい液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹 単純ヘルペス、水痘・带状疱疹	咽頭ぬぐい液、尿、髄液 水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭ぬぐい液、糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、水痘・带状疱疹	結膜ぬぐい液

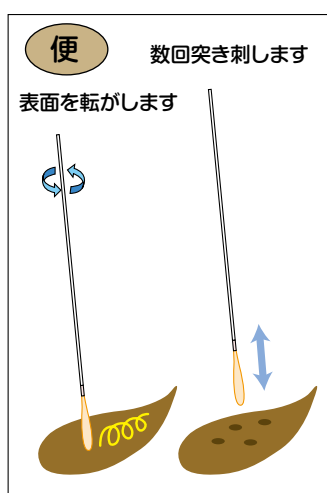
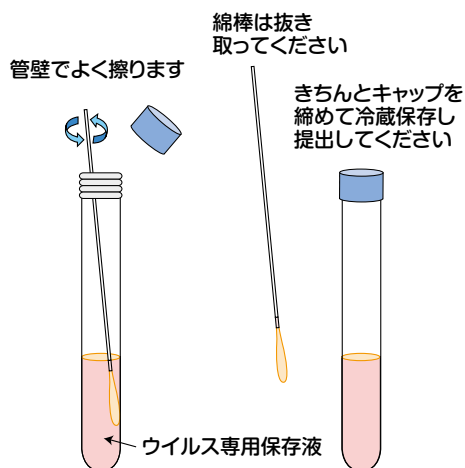
<検体採取および保存方法>

検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等	*2 滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片 (5mm角程度) をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。

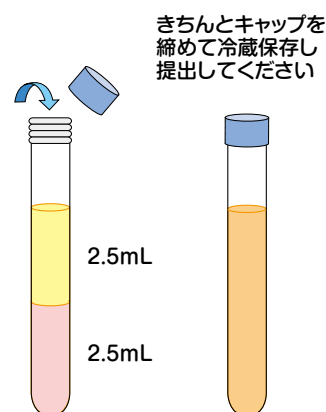
*1 同定検査は委託先の分離検査において分離された検体のみの受付となります。

*2 滅菌綿棒はプラスチック棒かアルミニウム棒付の綿棒で採取してください。

●ウイルス専用保存液は当所にて準備しておりますので、ご依頼前に営業担当員にお申し付けください。



液状検体 (尿等) は、ウイルス専用保存液と等量混合してください。検体量が保存液より少ない場合、保存液は捨てずに、そのままご提出可能な量の検体を入れてください。



33 ウイルス分離用

